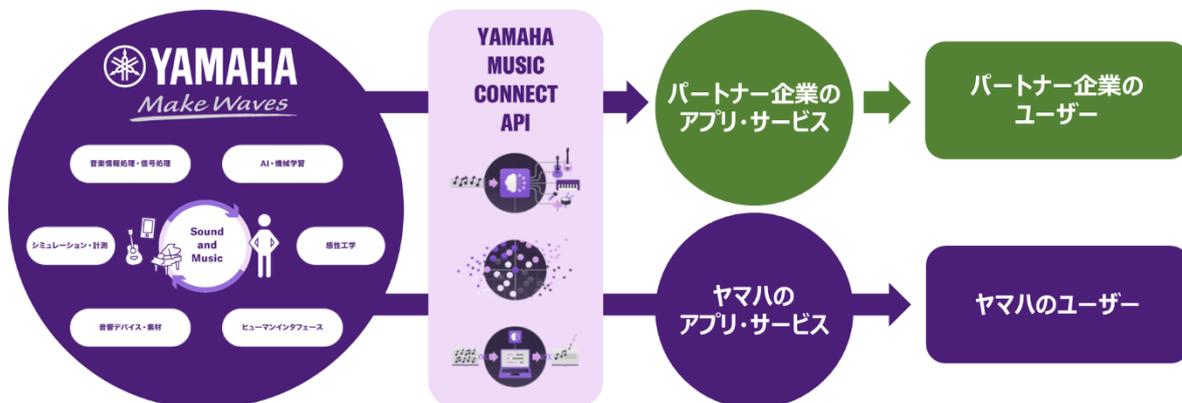


自社保有の研究開発技術を API の形にした 「Yamaha Music Connect API」を事業者向けに提供開始

ヤマハ株式会社（以下、当社）は、長年の研究開発活動で培ってきた保有技術の一部を API（アプリケーション プログラミング インターフェイス）の形にした「Yamaha Music Connect API」を10月7日から公開いたします。

当社の主要事業である楽器や音響機器などの製品・ソフト開発で蓄積した多様な技術を広く公開し、それらを音・音楽およびその周辺領域でモノ・コトを創造しようとしている多くの人たちに活用していただくことで、当社の既存事業以外の幅広いお客様に、新たな顧客体験を提供していきます。

当社は、今後もさまざまなパートナーとの協業を通じて新たなソリューションを提供し、日常生活からビジネスまで、お客様が抱えているさまざまな音・音楽に関する課題解決を目指します。



< 「Yamaha Music Connect API」について >

「Yamaha Music Connect API」は、当社技術を API の形で提供するサービス群です。当社が音・音楽を通して長年培ってきた技術と MIDI（ミディ）や楽譜変換などの楽譜制作に関連する技術をウェブ API として公開します。公開する API に関しては、今後も新たな技術開発を加速し魅力的な API のラインアップを拡充していく予定です。

*Yamaha Music Connect API サイト：<https://www.yamaha.com/ja/about/business/music-connect/apis/>
ご利用に関する具体的な質問や費用のご相談等を受け付けます。

提供開始日：2024年10月7日



ご利用相談

利用用途、利用サービス、トランザクション数の見込みなど、API稼働・運用に纏わる必要事項をヒアリングさせていただきます



ご評価

トライアルとして無償でAPIエンドポイントの払い出し、API認証情報の開示、API利用ガイドをご提供いたします。



ご契約相談

実際のご利用に応じて、ご契約内容や提供するサーバーの仕様を詰めさせていただきます。



ご契約

ご相談の内容に基づき、正式にご契約をさせていただきます。

<「Yamaha Music Connect」のサービス展開について>

当社は、長年培ってきた音・音楽に関するテクノロジーをベースに、アプリケーションやサービス展開による音楽文化への貢献・事業拡大を目指し、2023年にミュージックコネクト推進部を発足しました。「Music Connect API」をはじめ、アーティストの演奏をそのまま保存・再現する「Real Sound Viewing」、歌声合成技術「VOCALOID™」や、遠く離れた人と音楽セッションができるリモート合奏サービス「SYNCRROOM® (シンクルーム)」、アーティストの声でカラオケを楽しめる「なりきりマイク®」などのプロジェクトを手掛けています。

<https://www.yamaha.com/ja/about/business/music-connect/>

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 担当：佐藤 歩 TEL. 053-460-2210

ウェブサイト https://www.yamaha.com/ja/news_release/ (取材申し込みや広報資料請求が可能です)
